

市議会だより

12月定例会 一般質問

● 18人の議員が市政について質問しました。
● 主な内容については次のとおりです。

鈴木 規子 議員

消防団のこれからのあり方

問 現在、旧3町のままの3団ですが、合併したのですから、1団に統合し、団長は1人にすべきではありませんか。
答 情勢を見ながら考えていきます。

問 活動地域は旧3町のままでなく、市域全体にしないと旧市が範囲外です。
答 旧3町区域を範囲にしています。

問 報酬・費用弁償は分団預かりではない形にするべきではありませんか。
答 団員本人に支給するようにします。

問 平成22年度決算では、公費による宴会や酒・ビールの提供が行われ、過

去には大きな事故もあり、税金での賠償がなされました。公費による酒食提供は一切止めるべきではありませんか。
答 公費による会食を中止しています。

問 旧西尾市では、消防署を強化することで40年前に消防団を解団しましたし、現在では、旧3町でも消防署は強化されてきています。
答 火災消火は、プロに任せて、消防団には、災害時要援護者のリストづくりや避難誘導に働いてもらいませんか。

答 避難誘導は、消防団の任務に入っていますが、リストづくりは今のところ考えていません。

問 町外勤務者の多い団や佐久島では女性団員を増やしませんか。みよし市では全体の2割が女性です。三重県神島などでも女性団員が多数います。

答 女性の特性を發揮できる分野での

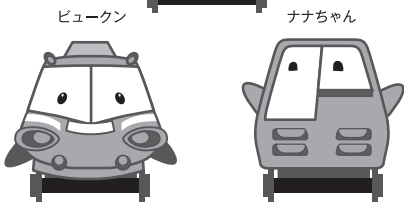
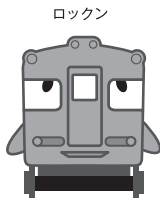
活動をお願いしていきます。

西尾・蒲郡線の利用促進策について

問 潮干狩りや一色大提灯まつりなど大きな行事の時は、名古屋から貸切特急を走らせるなど企画しませんか。

答 集客のイベントは蒲郡市とも連携し、今後、名鉄にも話をします。

問 近日中に赤字を解消できず、乗客も上向かない時は、どうするのですか。
答 現在、乗客数は若干のプラスです。



にしがま線応援団キャラクター

問 県や蒲郡市とともに、第3セクタ

ー設置での運行や、先進事例の研究を早急に進めるべきではありませんか。
答 財政支援の合意が得られなかった時は、そうした検討をしていきます。

高野 邦良 議員

安心できる教育について

問 放射線教育の現状はどうですか。

答 文部科学省は、福島第一原子力発電所の事故を受けて、「放射線等に関する副読本」を作成しました。指導資料として活用していきます。

問 給食は放射能汚染から完全に守られていますか。

答 現在、厚生労働省は、原子力災害対策特別措置法に基づき、食品ごとに出荷を制限する地域を定めているため、放射能汚染された食品は、市場に流通しない仕組みになっています。

問 全品検査までしてほしいという保護者からの要望にどのように応えていますか。

答 財団法人愛知県学校給食会が、市町村への支援事業として、学校給食用物資の放射線量を測定する事業を始めました。全品検査は難しいと思いますが、出荷制限されている自治体及びそ

の隣接自治体で生産され、出荷制限されていない食材につきましては、測定を依頼することを検討していきます。

問 この際、100パーセント地産地消の方針を打ち出しませんか。計画的農業振興にも貢献できるのではありませんか。

答 学校給食は、児童・生徒の健康増進を図るものです。そうした中で、地場産物を使用する工夫をして、今後その割合を増やすようにしていきます。



地場産物を利用している学校給食

安心できる福祉について

問 特別支援を必要とする方々への対応はどのようですか。

答 就労支援や生活介護、短期入所な

どの福祉サービスを提供しています。在宅での生活が困難な場合は、グループホーム、ケアホームなどの施設サービスも行っています。経済的な支援として、国・県からの障害者手当や、市からの障害者扶助料も支給されています。障害があっても、働く機会や社会参加の場所を得て、健康で生きがいのある生活が送れるよう、今後とも、福祉サービス事業所や関係機関と連携を図っていきます。

稲垣 一夫 議員

消防団について

問 消防団をどのように考えていますか。

答 消防団は、「自らの地域は自ら守る」という精神から住民の生命、財産を守ってきた歴史ある組織であり、団員の士気も高く、活動内容や技術においては他に負けないものと認識しています。将来、起こりうる災害において消防団の力は、重要なものであり、これらを維持していくことは、市として当然のことと考えています。

ごみの減量とエコカー補助制度について

問 資源ごみの収集方法はどのようになっていますか。

答 資源ごみの収集方法に関しては、吉良地区の回収頻度が月1回に対し、他の3地区は月2回となっています。今後吉良地区においても月2回の回収ができるように、現在検討中です。

問 エコカー補助制度の活用状況はどのように考えていますか。

答 低公害車の購入補助制度は大変好評で、今年9月末時点で、当初予算であります1千万円、200件分の申請がありました。10月以降も補助制度への問合せが多い状況から、12月定例会で補正予算をお願いしています。

問 今後、市として低公害車の購入補助制度の取組はどのようですか。

答 低公害車の購入補助制度については、市民の関心も高く、今後も継続していく施策と考えています。より効率が高がるように制度の見直しを行いながら取り組んでいきます。

子どもの読書活動の推進について

問 旧吉良町で実施していたノーテレビ・ノーゲームの日を設け、家族で読書に親しむ環境を創りませんか。

答 旧吉良町の実施状況や成果等の把握に努めるとともに、校長会とも相談し家庭教育の充実に向けた取組を検討

します。

問 学校司書を各学校に配置しませんか。

答 平成22年度の8人から3人増員し、11人配置しました。今後も、さらなる増員を検討していきます。

問 市立図書館の今後のあり方として、学校図書館を市民に開放する「地域開放図書館」を考えませんか。

答 実施する上において、ネットワーク化など運営体制や施設管理の問題等もあるため、関係各課と連携を図りながら調査研究を進めていきます。

牧野 勝子 議員

TPPが及ぼす影響と市長の見解は

問 政府はTPPに加入すると、その10年後に国民総生産が2兆7千億円増えるとしています。しかし、現在の国民総生産は500兆円ですから、たった0.54パーセントでしかありません。1億2千万余の国民で割り戻すと1人2万2千500円ほどです。そのうち労働者に配分されるのはわずかです。このほか医療、保険、公共事業、金融サービスや、食料品の安全性についても、規制緩和で重大な変更が危惧

されています。これらの内容は、市民に十分開示されていると考えますか。

◎ この制度の持つ意味やメリット、デメリットなどは、国民に十分開示されているとは思いません。

◎ 日本は、既に農産物の平均関税率を12パーセントにまで下げています。EUは20パーセント、アルゼンチン33パーセント、ブラジル35パーセントと高く、アメリカも乳製品や砂糖の輸入規制を続けています。日本は、農業に関して鎖国どころか世界で最も開かれた国になっています。

◎ 地球的規模での食料不足が大問題になっている時に、輸入依存を強めることは心配です。そこで農産物と鉱工業生産物の輸入の意味の違いをどのように考えますか。

◎ 農業は食料自給率を守っていかなくてはならず、大変難しい問題だと理解しています。

◎ 食料は、その国の国民の命を預かるもので、ほとんど生き物ですから備蓄にも大変配慮が必要です。それに加えて天候異常が起きた場合、その国が必要な分を確保してから、余りを輸出するのですから、その意味でも農産物は自国で賄うことが必要です。こうした市民の論議は尽くされていますか。

◎ これから十分な国民的論議を尽くしていただきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のために

◎ 児童館の少ない西尾市は、公民館などを子どもたちのために無料開放しませんか。

◎ 公民館は社会教育施設ですから、子どもの遊び場として開放することは考えていません。

◎ 学童保育の保育料の減免をしませんか。

◎ 低所得世帯の減免を計画しています。

前田 修 議員

産業廃棄物問題について
(1)新産廃処分場について

◎ 一色町生田地内の産廃処分場と新たな建設計画について、市はどのような考えですか。

◎ 竹生新田の旧産廃場については、汚水処理施設の回復や堰堤の改修を県に要望していますが、今後も土壌検査も含め強力に要望していきます。新産廃処分場計画については、住民の理解を得るのは難しく、建設の必要はないと考えています。

合併に関する諸要求について
(1)バス空白地域への公共交通

◎ 旧3町などバス空白地域に対する公共交通「デマンドタクシー方式」の検討状況はどのようですか。

◎ 旧3町などに、くるりんバスに代わる方法としてデマンドタクシー方式もその一つとして検討してきましたが、国の補助事業を受けるために、10月からの実施を考えています。

合併に関する諸要求について
(2)一色町公民館の工事見送り

◎ 一色町公民館の空調工事改修は、合併で引き継がれ、平成23年度予算に計上されましたが、執行を見送っています。合併の約束を反故にするなど許されませんが、理由はどのようですか。

◎ 実施設計委託料と空調整備工事を一体的に実施していきます。再来年以降、実施できるよう検討していきます。

合併に関する諸要求について
(3)小中学校に天井扇風機を

◎ 学校の各教室に、天井型の扇風機設置が進められています。西三河各市では、新年度に中学校の教室まで完了することになっています。西尾市も完了させるべきですがどのようですか。

◎ 新年度に小学6年生の普通教室ま

で、平成25年度に中学校に設置する予定です。今後、いろいろ考えながら進めていきます。

地震・津波対策について

◎ 津波対策はどのようですか。

◎ 標高マップ作成、沿岸部の標高表示板の設置、津波避難ビルの指定を進めています。自治会や自主防災会で津波対策連絡協議会も設置予定です。

鈴木 亨 議員

新西尾市にふさわしい名鉄
西尾駅前駅東・駅西について

◎ 名鉄西尾駅は、17万都市の玄関口であり、駅前に活気を取り戻すための施策が必要と思いますが、どのように認識していますか。

◎ 西尾駅前にアクセスする都市計画道路の整備をはじめ、駅東西の駅前広場の設置、電線の地中化など景観にも配慮した計画で実施しています。今後、既存集客施設の建替等で行政に相談があった場合、協力していきます。

◎ 名鉄西尾線(西尾駅・新城駅間)の複線化の考えは、どのようですか。

◎ 現在の利用状況や名鉄の考えなど



名鉄西尾駅西の広場(左側:駅舎)

から判断すると、複線化のメリットが少なく、今の状況で複線化を計画した場合、ほとんどの費用を行政で賄うこととなるため難しいです。

問 西尾駅東の商業施設解体跡地利用計画をどのように考えていますか。

答 現時点ではプランが固まるまでには、至っていない状況です。

問 駅西に民間の集客施設や公共施設、公益施設を立地することで、一層の相乗効果が期待できると思います。駅西の芝生広場を民間に売却し、その一部に市民交流広場のような公益施設が入る複合ビルを誘致しませんか。

答 当面は、イベント等の会場として

暫定利用し、今後、駅周辺施設の再建計画や一体的な土地利用等も視野に入れないながら、売却も検討し、将来を見据え、後悔をしないよう慎重に進めていきます。

問 駅周辺には、若者が集まる施設を誘致することで、駅前の活性化が図れると思いますが、その一つに専門学校などの施設を誘致しませんか。

答 開校していただけるところがあれば、誘致を検討していきます。

財源創出のための補助金及び助成金の見直し並びに事業の検証について

問 子ども医療費の自己負担分について無料から一部補助制度に変更し、創出した財源を教育施設の充実に充当しませんか。または、教育基金として積みませんか。

答 平成23年度当初予算で、市の負担額は、約6億9千万円ですが、西三河9市と幸田町のすべての市町が、本市と同様の助成制度を取り入れており、自己負担分の変更は、現在のところ考えていません。

問 市民への公平性を確保するため、1乗車100円の六万石くるりんバス運賃を、ふれんどバスと同様に200円に改定しませんか。

答 平成23年度実績で運行にかかる現在の赤字額は、3千779万2千円で

すが、料金改定は今後の課題とします。

問 PPS(特定規模電気事業者)からの電力供給契約の検証は、進展していますか。

答 現在、視察を終え、どの程度の電気料金の削減が見込めるかの検証を依頼する計画で、削減効果の検証ができ次第、部分的導入も含めて積極的に推進します。

颯田 栄作 議員

生活時間帯の区切り(チャイム)について

問 夕方のチャイムが鳴る時刻は地域によって異なりますが、どのように決められていますか。

答 合併協議で一般放送のチャイムは現行通りとする申し合わせが行われましたので、現在、西尾市行政無線運用規程に基づき、従前の放送時間帯で実施しています。



問 昼時のサイレンに関する要望が多いですが、再検討の余地はありませんか。

答 毎日2回鳴らしている回数を増やすことは考えていませんが、旧幡豆郡3町民の心をくんで、要望を再度確認しながら、昼のチャイムを入れた時間帯を検討していきます。

小・中学校の学期制について

問 全国8割以上が取り入れている3学期制に統一しませんか。

答 現在、2学期制と3学期制のそれぞれの特徴を踏まえた上で、統一に向けた検討を重ねています。

問 3学期制から2学期制に切り替わった際、混乱がありましたか。

答 3学期制には長い伝統があり、初めて2学期制について説明を開いた旧西尾市の保護者や地域の方々にも少なからず不安がありました。疑問や不安な点は、PTA総会や各学校で「Q&A」を作成したりして周知を図ってきました。試行期間を設けることで、学期制検討委員会を中心にして各種行事等の調整を図って、皆さんに切り替えのご理解をいただきました。

問 2学期制を採用している高校は、市内、県内に何校ありますか。

答 市内にはなく、県内に2校あります。文部科学省によれば、3年前の同じ調査によると2学期制は減ってきています。

大竹 忍 議員

新西尾市の今後のまちづくり

問 地域資源（歴史・文化・産業・観光・自然環境）を生かした個性と魅力あふれるまちづくりをして、交流人口の増を図りませんか。

答 第7次総合計画で、市内で完結できるような滞在型・回遊型の観光交流圏づくりを検討します。また、文化遺産を適切に保全、継承していくなどして交流人口の増を図っていきます。



三河湾から望む西尾市

問 新市の安全・安心のために、常備消防のさらなる充実を図りませんか。非常備消防については、消防団は1団に統合し、水警防団、市民消防隊及び自主防災会と連携を図りませんか。

答 効果的、効率的に消防力の充実を図っていきます。消防団の統一は考えていません。連携については、各種訓練を通して、より強固なものにします。

予防医療について

問 ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチン接種の助成を継続しませんか。

答 国の助成が平成24年度以降廃止された場合でも、市の財政状況を考慮しつつ、公費助成を継続します。

問 肺炎球菌ワクチンについて、75歳以上の方と、65歳以上の基礎疾患のある方へのワクチン接種費用の半額助成を実施しませんか。

答 国の方針が明確でない現在、高齢者の方への肺炎球菌ワクチン接種の助成は考えていません。

問 医療・介護従事者のインフルエンザワクチンの優先接種と費用の助成を実施しませんか。

答 優先接種については、関係機関と調整します。費用の助成については、考えていません。

問 健康診査時に胃がんの一次予防として、ピロリ菌の有無の検査を実施しませんか。

答 次年度以降、希望者に自費で検査できるように西尾幡豆医師会と調整していきます。

学校教育環境の改善について

問 改修計画のない学校トイレの改善について、専門業者による清掃とオン水による清掃での悪臭対策を実施しませんか。

答 効果は期待できると思いますので、今後、研究していきます。

長谷川敏廣 議員

西尾市の野球場構想について

問 野球と同じ程度の規模で行なわれているスポーツは他にもいろいろありますが、メディア露出でも観客動員でも、野球ほどずば抜けているスポーツは他に類を見ません。今年の「全国高等学校野球大会」の愛知県予選では、吉良高校がベスト8まで勝ち進みまして、合併して17万人都市が誕生した今こそ、プレイヤーも観客も真の野球を楽しむために、その市に相応しい野球場が必要になったと感じていますが、西尾市の野球場構想はどのようですか。

答 合併後の新市の基礎となる第7次西尾市総合計画の策定が進んでおり、野球場構想についても本計画の中で検討していきます。

東日本大震災における西尾市の対応について



横須賀公園運動場

問 被災地の復旧・復興、被災者の生活再建にはまだ多くの課題があり、震災は続いています。大災害の直後にはさまざまな議論がなされ、当面の対応策が進められました。しかし、この時期には、災害の全体像のデータが必ずしも十分ではなく、誤った状況認識、部分的事実のみに基づく議論なども

ばしばなされます。また、感情論や単なる行政批判にすぎない意見も多くありました。今回の激甚災害から学び得る教訓を最大限に引き出し、現時点での影響評価や分析と意見は、できるだけ早い時点で市としての考えを公表することに、広範な議論を喚起し、

今後の西尾市の一助となることを強く希望しています。東日本大震災における教訓として、西尾市の防災対策の最重要課題はどのようなことだと考えますか。

☞ 防災対策の最重要課題は、ハードとソフトのバランスです。

当市の今後の対応については、住民の避難を軸に土地利用、避難施設などを組み合わせて、ハードとソフト、取り得る手段を尽くした総合的な津波対策が最重要課題と考えています。

問 3月11日の東日本大震災発生以来、東北地方を中心に未曾有の被害に見舞われ、その復興は必ずしも順調に推移しているとは言えない状況にあります。東日本大震災において、西尾市の災害支援体制はどのようでしたか。

☞ 人的支援として緊急消防援助隊として消防職員や罹災証明事務に係る事務職員など70人を派遣しています。また、物質支援として備蓄品や生活必需品を8万3千97点、個人や団体の義援金として、1億8千600万円余を支援しています。

石川 伸一 議員

塩田復元整備事業について

問 9月議会にて、旧3町からの継続事業のうち、塩田復元整備事業については、新たな検討委員会を設置し、検討していくと答弁がありました。その後の進捗状況はどのようですか。

☞ 文化財保護委員会の意見を聴取し、検討委員会委員の人選に入っています。

問 旧吉良町には、吉良入浜式塩田保存会という組織がありますが、新たに設置される検討委員会の委員に保存会の委員は含まれますか。

☞ 検討委員会の委員にお願いしたいと考えています。

問 前年度3月の常任委員会において、塩田復元整備事業には駐車場の確保が必須条件であると答弁されましたが、その後の進捗状況はどのようですか。

☞ 実施計画は新市にて検討します。駐車場についても再度検討します。用地取得については、今年度、不動産鑑定評価を行っています。

問 合併前の西尾市議会で承認された予算が年度内に執行されない可能性が

出てきましたが、この事態をどのように考えますか。

☞ 合併協議事項や予算は尊重しています。最少の経費で最大の効果を挙げるために、駐車場についても再検討していきます。

問 本年度内の駐車場確保は本当に可能ですか。本事業が立ち消えてしまわないか大変危惧しています。市としての姿勢はどのようですか。

☞ 入浜式塩田の製塩技術を保存していくことは大切であり、無形民俗文化財として継続していくための必要な整備にはなるべく早く取り組んでいきます。第7次総合計画や3か年実施計画に位置付けをしていきます。吉良の塩田での製塩を広く知っていただくために、今後塩づくり講座の充実や吉良の塩のPRなどを行っていきます。

問 3か年実施計画に位置付けをしていくとのことですが、西尾市としての考えはどのようですか。

☞ 所管部において事業の内容、必要性等を十分に検討した上で、第7次総合計画及び実施計画に位置付けることができれば、平成25年度以降のできるだけ早い段階に実施していきます。



徳倉 正美 議員

合併後の検証について(その2)
合併の約束が反故に

問 合併初年度である本年度の当初予算は、各町それぞれ自主財源を持ち寄り、今年度を実施すべき事業を市との調整の上で予算編成されたものであります。市議会でも承認され、いわば実施が約束された事業予算であります。それなのに旧3町の事業の中で、主たる事業が未実施のものがあると思いますが、どのような事業がありますか。

☞ 一色町公民館ホール棟の空調施設整備工事の実施設計、吉良町の塩田復元整備事業の用地購入及び幡豆町の消防施設整備事業の一部を含めた3件が年度内未執行の予定です。

問 合併前は「やる」と言いながら、実施しないとなりますと、合併前の約束が反故にされたことになります。しかも、この12月まで議会に対して何ら説明もありません。これら事業は、「新市基本計画」及び「新市財政計画」の作成時にも了承済みの事業であり、予算は各町の町民の方から預かった税金が充てられています。本来その地区に使われるべき税金が使われないことになり、どのように対処されますか。

◎ 予算計上された事業の実施については、全体のバランスや長期的観点・視野に立ってさまざまな要因を再確認し、事業実施をしています。これは、最少の経費で最大の効果を挙げるという行政運営の基本に基づくものです。

◎ 地方自治法に、その年度の歳出はその年度の歳入で賄うという「会計年度独立の原則」が自治体に義務付けられています。このままだと、当初予算に計上された事業を年度途中で中止にし、しかも議会に何ら説明もなく、次年度に4千万円以上の税金を使わずに繰り越すことになるのではないですか。そのような議事を軽視した不当なやり方は、議会が許しません。議会軽視もはなはだしい。また、市民も納得しません。市長は「合併してよかったです」と思えるまちづくり、また、「融和をめざす」と言われていますが、このままでは旧3町の市民には、到底理解されないと考えますが、市長の見解はどのようですか。

◎ 現在、第7次総合計画の策定中です。この中で合併前に計画、検討されたことは、大いに尊重した上で新市全体の観点からまちづくり計画に取り組みたいと思います。



広中 利臣 議員

史跡の駅防災ノート作成スマートシティー構築などについて

◎ 「船頭重吉」の故郷を整備し、漂流200周年行事等を開催して記念救命胴衣等を配布し、名所・旧跡の指定と小京都にしおの拠点を整備して史跡の駅を設置しませんか。また、ふるさと大使やふるさと納税者等西尾出身ゆかりの人が集まる大会を開催しませんか。

◎ 行事は関係市と連携し記念品も検討しますが、他は考えていません。

◎ 高齢者等に携帯用呼び笛を配布して火災等非常時救援体制を整備し、津波や高潮対策等で障がい者や高齢者のためのシェルターや方舟を開発して助成制度を設け、子ども防災ノートを作成配布しませんか。そして、震災等寄付教育プログラムを開発してリーダーの育成講座を開設しませんか。

◎ また、アレルギー対応給食の献立を充実して一緒に給食が食べられる体制を整備し、食材等の放射性物質検査測定器を設置して結果を公表しませんか。

◎ アレルギーは難しく、放射能は支援事業に依頼し、シェルターは今後の課題としますが、他は考えていません。

◎ 認知症コーデイネーター育成講座と、もの忘れ予防・相談検診をマニュアル化して予防教室を開催し、ピック病や若年性認知症等の対応マニュアルを作成して専任組織を設置したり、認知行動療法を実施して自殺予防情報センターと、引き込み支援センターを設置しませんか。

◎ 育成講座と専任組織の設置は難しく、予防教室のシステムづくりに取り組みますが、他は考えていません。

◎ 学校等節電効果の料金等を報奨金として再配分し、電気自動車等の蓄電池緊急電源供給連携システムと住宅等に送電できるシステム改修と電動スクーター等やHEMS（ホームエネルギー・マネジメント・システム）・BEMSやビル等の補助をし、スマートメーターを設置して見える化を図って市民にスマートハウスを周知し、スマートグリッドを整備し、次世代のエネルギーネットワークを備えたスマートシティー構想を策定して太陽光パネル等の設置のプロジェクトチームを設置し、スマートコミュニティづくりをしませんか。また、クリーンセンター改修時にIGCCのクリーン・コール・テクノロジー（環境と調和する石炭利用の技術的工夫）等を活用し、IGFCを設置する研究を進め、PFI事業の提案制度を導入してコンセッション方式のプロジェクトチームを設置し、プロモーション会を開催しませんか。

◎ 研究・検討します。

中村 行男 議員

合併後の問題と今後のまちづくりについて

◎ 新市の中心となる福地地区「憩いの農園」周辺の活性化事業の進捗状況はどのようですか。

◎ 一部事業の見直しが必要ですが、第7次総合計画に位置付けができるよう進めています。

◎ 旧3町の活性化と南北道路「岡崎一色線」を早期に進めませんか。

◎ 都市計画道路岡崎一色線の今川町・矢曾根間を今年度末に、県道蒲郡碧南線までを平成24年度末に供用開始する予定です。



3月28日供用開始の市道矢曾根今川南部1号線

市立特別支援学校の早期建設について

問 熱池町及び横手町地内の県道交差点の改良計画はどのようですか。
答 渋滞している県道豊田一色線の右折帯用地の買収は、本年度末までに約40パーセントの完了予定です。また、横手町の西尾幸田線の交差点は、早期改良に向け予算確保に努めます。

問 建設計画の予定はどのようですか。
答 具体的内容を調査するため、庁内5課で勉強会を設置し検討しています。

問 学校をつくる場合の面積や規模はどのほどを予定していますか。
答 規模等は未定ですが、視察した状況では、教室は15から20が必要です。

問 他市に例のある空き校舎の改修や合併による施設統廃合による跡地再活用により、建設を進めませんか。
答 色々な部屋が必要となりますので、内部の勉強会で話題にしています。

問 家族の方は、一日千秋の思いで建設を待っています、一刻も早い建設に取り組みませんか。
答 対外的な協力、支援も含め、調査及び情報の収集などを進めます。

問 養護学校建設計画を第7次総合計画に載せませんか。
答 養護学校建設計画を第7次総合計画に載せません。

愛知こども国について

答 素案の作成中であり、現在、発表できません。

問 施設の存続に向けた対応をどのように進めますか。
答 維持経費の一部を市が負担することは困難な状況ですが、県の大規模児童遊園で貴重な観光資源ですので、存続されるよう市を挙げて協力します。

高須 一弘 議員

旧幡豆郡の防災対策と消防団に対する認識について

問 過日配布されたチラシ記事は全く遺憾で最悪なものです。特に「酔っ払い消防団…」とありますが、どのように考えますか。
答 酒を飲んで活動することはなく、市民の皆さんに誤解を招く表現です。

問 改善すべきは改善し、さらに消防団の充実を図るべきの方針から、既に適切な支出がしてあると聞きますが、どのようですか。
答 平成23年度予算では、公費での会食を廃止し、食糧費なども削減しました。

問 チラシには「消防団は消火しない」とありますが、実態はどのようですか。
答 本年度6件の火災に出勤し、4件の消火活動と他2件は常備消防の支援を行っています。

問 チラシには一貫して「消防団は要らない」とあります。
答 佐久島は木造住宅が密集し、山林、原野、耕作放棄地等も多く、火災発生の危険な地区です。常備消防とした場合、いくら予算が必要ですか。

問 佐久島分署を設置した場合、分署建設費に約1億9千万円、消防救急各種機材及び消防艇に約2億7千万円と20人の人件費及び光熱水費に約1億5千万円の計6億円超が必要ですか。
答 平成22年度一色町佐久島分団に要した経費はいくらでしたか。

問 車両、施設の維持管理費及び団員報酬など総額で810万円です。
答 旧幡豆3町の防潮扉と水門は何か所ありますか。

問 旧幡豆3町の防潮扉と水門は何か所ありますか。
答 角落しを含む防潮扉が113か所と水門が32か所あります。

問 常備消防だけでは、防潮扉の迅速な閉鎖は対応不可能と思われま。また、広大な山林火災に的確に対応するために常備消防職員は何人必要ですか。
答 3月11日の津波警報発令時には、団員など139人が防潮扉の閉鎖を実施しました。また、山林火災は消防水



3町消防団による出初式

問 市長は消防団について、どのような認識で、今後どのような方針としていきますか。
答 国から消防団の設置指導を受けており、合併により設置できました。団員の士気は高く、活動内容、技術ともに優れており、有事の際に消防団の力は重要であります。維持することは当然と考えています。

鈴木 正章 議員

安全で安心なまちづくりのために

問 災害警報等の市民への周知徹底方法はどのようですか。

答 市民への情報伝達は、同報無線、携帯電話（エリアメール）、広報車等で行います。

問 海のレジャー観光客への災害警報の周知徹底方法はどのようですか。

答 被害が想定される警報は、防災無線のサイレン吹鳴と同報無線のアナウンスにより避難を呼びかけます。さらに市の広報車両、消防車両等により広範囲に広報活動を実施します。

問 海のレジャー観光客への避難誘導の考え方はどのようですか。

答 観光客には防災無線で周知するとともに、漁協、温泉組合などと連携し避難誘導を行います。また、本年度標高マップを作成し、そのデータを基に津波避難ビル指定を含め、高台を示す避難誘導表示を電柱などに設置します。

問 防潮扉の管理はどのようですか。

答 扉の開閉操作は、一色地区は消防団に、吉良・幡豆地区は地元町内会と

消防団に、寺津・平坂地区は消防署が対応しています。

問 防潮扉開閉時の消防団と町内会の被災時の補償制度はどのようですか。

答 消防団は非常勤特別職の地方公務員として消防組織法及び水防法により対応します。町内会は、西尾市市民活動総合補償制度で対応します。

問 災害発生時の住民と災害対策本部との情報伝達、支援物資等の流れはどのようですか。

答 情報伝達、支援物資等の災害対策本部との窓口は町内会長を通じて行います。地域の避難所への支援は、指定避難所より町内会の協力で配布します。

問 災害発生時の市内各種団体との支援協定の状況はどのようですか。

答 食料品、生活必需品で10社、飲料水で5社、LPガス、ガソリン等の燃料及び応急対策活動で40件の合計55の災害協定を締結しています。

問 災害発生時の避難所開設、支援物資配布等の想定スケジュールはどのようですか。

答 過去の震災の例より3日以内には支援物資が届いています。また、各避難所はあらかじめ担当職員を決め速やかに開設します。今後、災害対策本部と各避難所との実践的な情報交換及び指揮命令の通信連携訓練を実施します。

安藤 好実 議員

西尾市民病院の改善について

問 市民病院事務は専門的知識を特に必要とする内容が多いため、プロパシーの専門職として事務職を独自に採用していく考えはありませんか。

答 専門職の採用については、異動がないことでメリット、デメリットがあると考えられますので、病院とも協議し、慎重に検討していきます。



西尾市民病院

問 市民病院の医師不足を解消していくため、医師が定着するような待遇改善をしていく考えはありませんか。

答 医師公舎、院内保育園、医局の整備、医師手当の増額、医師事務の作業補助者の配置などを行っています。他の病院の事例を研究し、医師にとっ

て魅力的となるように努めていきます。

問 高額な医療機器の更新年数は、近隣の公立病院と比較してどのような状況ですか。

答 CT診断装置などの高額医療機器の耐用年数は6年ですが、8年から15年使用して更新しています。今後、経営状態を見ながら、他の医療機器についても早期に更新していきます。

地産地消の推進について

問 小・中学校や保育園の給食材料のうちで、市内で生産されたものの割合はどのようですか。

答 食材数90のうち県内産が45、県内を除く国産が29、外国産が16で県内産の割合は50パーセントです。保育園では、食材数68のうち県内産が32、県内を除く国産が30、外国産が6で、県内産の割合は約47パーセントです。

問 公立保育園との違いが民間保育園にはあると思いますが、現状はどのようですか。

答 公立保育園と同様に地産地消、安心安全の面から地元産の使用割合を多くするように指導しています。また、民間保育園の特性を生かして添加物の多いものを避けたり、手づくりこだわった旬の食材を使用し、食育の推進に取り組んでいる園もあります。

牧野 次郎 議員

「官製ワーキングプア」をなくす
ため公契約条例の制定を

問 「公契約条例」とは、自治体の工事業や委託契約で事業に従事する者の賃金・労働条件が適正に確保されるように義務付ける制度で、もって地元企業の安定経営と労働者の賃金・労働条件の改善を進めることにより、工事やサービス「の質」を確保し、地域の賃金水準を引き上げ、地域経済の活性化を進める政策的入札制度です。

公契約条例で賃金・労働条件などが改善されれば、税収も増えると言われますがどのようにですか。

答 労働者への賃金が増えれば、増収につながると思います。

問 雇用労働条件を改善しワーキングプアをなくしていくことは、自治体の責務と考えますがどのようにですか。

答 雇用を守り生活環境を向上させることは自治体の責務と認識しています。

問 公契約条例制定に向けて、市の考えはどのようですか。

答 県、近隣市、関係団体と調整を図りながら、研究を進めていきます。

問 制定に向けて市長のリーダーシップが重要ですが、市長の考えを示してください。

答 ワーキングプアは大きな問題なので、しっかりと進めていきます。

吉良町の塩田復元整備計画について

問 平成22年4月の合併協議と平成23年2月の計画書の事業費の見込みはどのようにですか。

答 合併協議資料では1億4000万円で、計画書では約3億5千万円です。

問 新市において検討しなければならぬことはどのようなことですか。

答 管理運営体制、展示内容、観光客の呼び込み、技術継承団体の育成などがあり、他に販売用の塩の成分、施設の防災上の問題や財源などです。

問 不要不急な事業は行わないという市長公約から考えて、市長の考えはどのようにですか。

答 検討委員会ですっかり検討します。

永山 英人 議員

ごみの減量化について

問 燃えないごみと埋め立てごみを区

別する地区、また、青袋に入れて出す方法とコンテナに入れる方法に分かれています。新西尾市では今後どのように統一しますか。

答 今後、ステーションの設置か所の見直しと、不燃ごみの出し方について検討し、統一ができるように調整していきます。

問 常設資源ステーション3施設の維持費は年間いくらですか。

答 ステーション管理委託料等約816万円などです。

問 一般廃棄物最終処分場の年間運営費は、いくらですか。また、4か所を1か所ずつ順番に埋めていきますか。

答 4施設合わせて約5千824万円です。1か所にする、市民サービスの低下となることから全施設を開放しています。

問 有害な金属を取り除くキレート剤の量や費用はどれくらいですか。

答 薬剤の量は93トンで、金額は4千300万円です。

愛知ごどもの国存続に向けた市の対応について

問 現状では存続が難しいと改善を迫られています。今後、市の対応はどのようですか。

答 施設の一部移管及び維持管理費を

負担することは財政状況から困難です。しかし、重要な観光資源でもありますので、広く市内外に向け宣伝し、イベント開催などに協力連携していきます。

問 平成24年夏までに、県は方針を決定する予定です。夏までに何か行事を考えていますか。

答 平成24年5月に愛知県の植樹祭を開催する予定があります。

問 マラソン大会や駅伝大会を開催しませんか。

答 さまざまなイベントを県と話し合いつつ検討していきます。

無の里薄墨桜の移植について

問 平成元年に無の里に薄墨桜が移植され、近年、観光名所として知られるようになりました。この桜の存在価値についてどのように認識していますか。

答 平原の自然の中に建つ合掌造りの「無の里休憩所」と薄墨桜の調和した景色は、日本の原風景として貴重な観光資源であると考えています。

問 桜の木が育ち、旧家の屋根に覆いかぶさっています。市の事業として移植しませんか。

答 建物を保全しつつ、桜と建物の調和した景観も配慮した管理を行います。



12月定例会で可決された議案



☆人権擁護委員に、石川始史氏と黒野慶子氏の2人を推薦することに同意しました。

★西尾市債権管理条例の制定について	市の債権の管理の適正を期するため、新たに条例を制定するものです。
★西尾市安全なまちづくり条例の制定について	犯罪抑止などを目的として、安全なまちづくりに向けた基本的な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。
★西尾市暴力団排除条例の制定について	市民生活の安全確保などを目的として、社会全体で暴力団排除を推進するための基本的な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。
★西尾市歴史民俗資料館建設基金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	基金の処分について拡大を図るため改正するものです。
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	国民健康保険事業の健全運営を図るため改正するものです。
★西尾市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	工事費等の滞納を防ぐため改正するものです。
★西尾市水防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令(平成23年政令第296号)が公布、施行されたことに伴い改正するものです。
★吉良恵比寿海岸駐車場の指定管理者の指定について	吉良恵比寿海岸駐車場の指定管理者を指定するためのものです。
★西尾市佐久島クラインガルテンの指定管理者の指定について	西尾市佐久島クラインガルテンの指定管理者を指定するためのものです。
★宮崎漁港内施設の指定管理者の指定について	宮崎漁港内施設の指定管理者を指定するためのものです。
★西尾市ふれあい広場の指定管理者の指定について	西尾市ふれあい広場の指定管理者を指定するためのものです。
★愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	愛知郡長久手町が平成24年1月4日に市制を施行することにより、規約を変更する必要があるため、議会の議決に付すものです。
★平成23年度12月補正予算	一般会計(第5・6号)・国民健康保険特別会計(第3号)・公共下水道事業特別会計(第4・5号)・農業集落排水事業特別会計(第3号)・介護保険特別会計(第3・4号)・佐久島診療所事業特別会計(第2号)・病院事業会計(第2号)・水道事業会計(第1号)の補正予算です。

■意見書

次の意見書を、関係行政庁に提出しました。

★自動車関係諸税の抜本見直しについての意見書	総務大臣、財務大臣
------------------------	-----------

■11月臨時会で可決された議案

★西尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	給料月額の変動のため改正するものです。
-----------------------------------	---------------------

■12月定例会に出された陳情書

★「『子ども・子育て新システム』に反対する意見書」提出を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町9-7 愛知保育団体連絡協議会 会長 加藤哲雄	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書（企画総務委員会関係分）	名古屋市熱田区沢下町9-7 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 徳田 秋	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書（厚生委員会関係分）	名古屋市熱田区沢下町9-7 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 徳田 秋	不採択
★「緊急事態基本法」の制定を求める意見書提出を求める陳情書	西尾市伊文町22番地 高須基雄	不採択
★住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める陳情書	名古屋市中区三の丸2丁目5-1 国土交通労働組合中部地方協議会 議長 杉本忠久 他2団体	不採択
★自衛隊等の大震災救助活動に対して感謝の決議を要望する陳情書	岡崎市上和田町南屋敷17 愛知の教育を考える会 事務局長 杉田謙一 他2人	不採択
★東日本大震災発生の日に全官庁施設に半旗掲揚を求める意見書の提出を求める陳情書	岡崎市上和田町南屋敷17 愛知の教育を考える会 事務局長 杉田謙一	不採択

3月定例会市議会 開催予定のお知らせ

2月28日(火) 本会議
(施政方針演説・当初予算を除く議案上程
29日(水) 本会議
(施政方針に対する質問)
3月1日(木) 本会議(一般質問)
3月5日(月) 本会議(一般質問)
3月6日(火) 本会議(一般質問)
3月7日(水) 本会議(当初予算上程)
3月9日(金) 文教委員会
3月12日(月) 厚生委員会
3月13日(火) 経済建設委員会
3月14日(水) 企画総務委員会
23日(金) 本会議
開会時間は午前10時です。
*本会議は議場
*委員会は第一委員会室

議会テレビ中継のお知らせ(予定) 放送日

3月1日(木) (2月28日施政方針演説)
3月5日(月)
(2月29日施政方針に対する質問)
3月9日(金) (3月1日一般質問)
3月15日(木) (3月5日一般質問)
3月22日(木) (3月6日一般質問)
ケーブルテレビ「キャッチ」
デジタル107CHで放映
【放送開始時間】
2月28日の施政方針演説は、
7時5・12時5・16時5
その他は、いずれも18時からです。
インターネットで議会を見てみよう
西尾市議会ホームページから
アクセスできます。
ぜひご覧ください。

編集室

もうすぐ3月11日がやって来ます。去年の今頃、誰がこの悲劇を予想したでしょうか。

東日本を襲った大災害は、多くの方々の幸せを奪い、人生を狂わせてしまいました。自然の脅威の前では人間の営みが如何に儚いものであるかを噛み締めた1年でした。

ボイスカウトには、「備えよ常に」というモットーがあるそうです。天災は避けることができませんが、備えることはできます。今一度、地域社会全体で「備え」について真剣に考えるべき時が来ているのではないのでしょうか。

末尾となりましたが、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げ、筆を擱きます。

議会だより編集委員

◎ 小林 敏秋 ○ 稲垣 一夫
松井晋一郎 前田 修
鈴木 正章 颯田 栄作
鈴木 規子 広中 利臣
西尾市議会議会だより編集委員会

電話 56-2111
FAX 54-0311

■ホームページ(<http://www.city.nishio.aichi.jp/>)で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。